

## ピリポ・カイサリアとユダヤ・キリスト教の わざわい

マタ 16 章 13~20 節 そのときイエスは弟子たちに、ご自分がキリストであることをだれにも言つてはならない、と命じられた。(20)

ユダヤ人は、原罪と救いに関する知識でした。それゆえ、今も世界教会は門を閉ざして、次世代までわざわいの道に行くしかないので。Remnant はキリストがだれなのか、なぜ私たちに必要なのかを知りましょう。

1つ目、旧約時代にはキリストに関する預言だけでも働きが起きました。創世記3章15節の契約でエジプト福音化が起きました。出エジプト3章18節の契約を通して、出エジプトの働きが起きました。サムエル7章7節から9節に出てくる子羊の全焼のいけにえの契約は、ペリシテを打ち負かしました。ダビデは正確な福音を握って神殿を準備しました。2つ目、みことばが人となられたキリストを通して起こった働きがあります。イエス様は病んだ者を癒やして奇跡を起こされました。そして、私たちの原罪を解決するために十字架で死んで復活されました。3つ目、復活されたキリストが約束されたことがあります。それが、御座の絶対やぐらです。そして、御座の絶対旅程を進むようにされました。これが伝道です。そして、復興が起こる御座の絶対道しるべを建てるようにされました。

ユダヤ人のわざわいの理由と恵みの福音を正確に分かる Remnant は答えを受けるしかありません。

神様、わざわいの理由と解決の福音の契約を正確に知って伝える Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

## 初代教会のわざわいと世界福音化

使11章1~18節、ガラ2章19後半~20節、コリ10章4~5節 私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。(ガラ2章19後半~20節)

イエス様は地の果てまで証人になるとと言われました。しかし、初代教会はローマを福音化できませんでした。それがわざわいです。福音ではない、ほかのことを重要なに思って、かえって福音運動を邪魔することもありました。それゆえ、Remnant はサタンの要塞を打ち倒して、神様の要塞を作る御座運動をしましょう。パウロはどのように御座運動をしたのでしょうか。

1つ目、パウロは現場で聖霊の導きを100%受けました。聖霊は確かに人、出会い、場所をすべて導いておられます。御座のやぐらと旅程、道しるべを祈って礼拝をささげ、説教のみことばをよく聞けば聖霊の導きを受けることができます。いつも始めるときは、このように聖霊の導きを受けましょう。2つ目、パウロは現場を見て、その現場を100%癒やしました。これが過程です。イエス・キリストの御名で癒やすことができるという確信を持ちましょう。すると、癒やしの働きは起ります。3つ目、パウロはシステムを100%作りました。現場に初めて行ったとき、絶対に揺れないリディア、ヤソン、プリスカ夫婦のようなシステムを作ったのです。会堂、講堂、広場でも、同じ働きを起こしました。

Remnant は一つの現場で神様の要塞を建てて御座運動を始めてみましょう。

神様、初代教会がした失敗に陥ることなく、御座運動を始めますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

## ローマのわざわいと世界福音化

ロマ1章16~17節 私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシア人にも、信じるすべての人に救いをもたらす神の力です。(16)

ローマ教会は世界福音化と反対になることだけをしました。すでに御座でなく、サタンのやぐらと要塞が作られていたので、そうするしかありませんでした。Remnantは、神様の王国によってサタンの王国に勝ちましょう。

1つ目、Remnant一人だけいても現場を生かすことができます。イスラエルがペリシテに苦しめられていたとき、サムエル、ダビデ一人によってペリシテが完全に打ち負かされました。エルサレムを取り囲んだアッシリアの軍隊をヒゼキヤ一人が祈って打ち倒しました。捕虜になって行ったダニエルは、4人の王を動かしました。ひとつの現場に神様の王国を味わう一人がいるなら、わざわいが崩れます。2つ目、一人の献身で237か国と5千種族を生かします。そして\*TCK、\*CCK、\*NCKも生かすことができます。3つ目、一つの現場で献身すれば、弟子が出てきます。神の国をわかって大胆に説明した人がパウロです。中世時代にはルターがわかりました。このルターを助けた重職者が時代を変えました。Remnantがこの話をわかって、一人の弟子として立つなら、神様はすべてのことを集めてそのRemnantに持って行かれるでしょう。

Remnantは神様の王国によって一つの現場、一人の弟子の答えを受けましょう。

神様の王国によって現場を福音化するRemnantの答えを受けますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

## 神様とともに始める

創12章1~3節 主はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。(1)

人々に最も重要なのは自分自身です。自分のために生き、自分の考えるとおりに選択して生きていきます。まことの「私」を見つけるために数多くの努力をします。結局、創世記3章の「私中心」に縛られて、わざわいの道に行くようになります。ですから、Remnantの旅程の中で絶対にのがしてはならないことがあります。

1つ目、私の考え方と私の基準が必要ではないということです。キリストが私にくださったことを味わえば、私の考え方と基準は必要でなくなります。2つ目、私のことが重要ではないということです。神様の働きを見れば、ネフィリムに流れる私のことは重要でなくなります。毎日、神様がくださる答えを味わうので、私のことが必要ではない状態になります。3つ目、私の味方が必要ではないということです。99%の人は、バベルの塔の中で熱心に生きた結果として私の味方を手にいれます。しかし、私の味方をどんなにたくさん持っても、崩れる人生を止めることはできません。

人々は世の中で「私」ということに陥ってさ迷っています。Remnantは「私」から抜け出して、神様がくださることをもって、神様とともに始めましょう。そうするとき、わざわいに陥った人々に正確な福音を伝える伝道者として立つでしょう。

神様、私の考え方、私の基準、私のこと、私の味方が必要ではない、キリストで十分なレムナントになりますように。世の中をただ福音で生かす伝道者になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

えいえん まつ はじ  
永遠の祭りの始まり

出 23 章 14~19 節 年に三度、わたしのために祭りを行わなければならない。  
(14)

イスラエルの民が歩いた荒野の道は、絶対不可能に見える大変な道でした。多くの苦しみと問題の中で、神様はイスラエルの民に証拠を見せてくださいました。三つの祭りを通して、すべての答えを皆与えられたのです。それなら、Remnant は三つの祭りで、どんな答えを受けるのでしょうか。

1つ目、運命をひっくり返す祈りの契約をくださいました。運命をひっくり返す救いと(過越祭)永遠の神様の力、(五旬節)永遠の御座の背景を(仮庵祭)祈りで味わいましょう。すると、世界福音化的門が開かれて、みことば成就の答えを受けるようになります。2つ目、世の中を変える神様のやぐら、旅程、道しるべを刻印させましょう。荒野での苦しみは、イスラエルに世の中を生かす信仰を与えてられ、暗闇が震えおののくようになるためのものでした。3つ目、次世代と未来を生かす見張り人の契約をくださいました。出エジプトを通して神様が見せてくださった証拠と、荒野での奇跡、カナンの地に入った証拠を次世代に伝えなさいと言われました。

Remnant に苦しみと難しいことは必ずきます。その中で神様の証拠を見つけるのです。荒野の時間はイスラエルの民を証人として立てる神様の最も良い時刻表でした。

神様、今日も過越祭のキリストの契約を握って、神様の力を体験した五旬節の契約の中で、永遠の御座の背景を味わう仮庵祭を私のこととして味わいますよう。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2025.03.23.1部

みつ にわ ひかり しんでんかいふく わたし  
三つの庭 - 光の神殿回復 - 私のやぐら

詩 119 篇 105 節 あなたのみことばは 私の足のともしび 私の道の光です。

Remnant は\*三つの庭がある光の神殿を回復しましょう。そのために、先に私のやぐらを変えるのです。やぐらを変えれば、Remnant にどんなことが起こるのでしょうか。

1つ目、私たちの中にみことばのやぐらが先に臨みます。三位一体の神様が御座の力で私たちに働きかれます。すると、その力で御座の旅を進みます。すると、あちこちに御座の道しるべが作られて、5千種族にいる隠された人材が来るようになります。2つ目、教会の中にやぐらが祈りで建てられます。モーセの母親が祈りのやぐらを建てて、みことばに従って行ったのですが、これが世界をひっくり返す始まりになりました。これが光の力です。エリシャがドタンの町を作ったのですが、すべてのRemnant が起きて、アラムの国と戦わずに勝ちました。3つ目、現場を生かす現場やぐらが建てられます。パウロは現場に異邦人のやぐらを先に作りました。そして、だれも治すことができない病気を癒やすやぐらを建てました。そして、ローマを目標に Remnant に向かって会堂に行きました。Remnant は学業に神様のやぐらを建てましょう。

Remnant は今日からやぐらを変えるように祈り始めましょう。

\* 三つの庭：異邦人の庭、癒やしの庭、次世代の庭のことです。

神様、私にキリストの光の神殿が回復しますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2024.12.31.2025年元旦祈祷会1講